

オーストラリア 好配当株式オープン (毎月決算型)

運用報告書(全体版)

第111期 (決算日 2021年10月21日)
第112期 (決算日 2021年11月22日)
第113期 (決算日 2021年12月21日)
第114期 (決算日 2022年 1月21日)
第115期 (決算日 2022年 2月21日)
第116期 (決算日 2022年 3月22日)

(作成対象期間 2021年 9月22日～2022年 3月22日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	2012年7月31日～2022年9月21日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド	オーストラリアの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券をいいます。）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、相対的に予想配当利回りの高いオーストラリアの株式等に投資し、配当収益を確保しつつ値上がり益の獲得を追求することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			S & P / A S X 200指数 (円換算)		株 式 組入比率	株式先物 比 率	投資信託 証 券 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
87 期末 (2019年10月21日)	7,129	60	0.3	14,199	0.5	75.7	3.7	18.5	106
88 期末 (2019年11月21日)	7,024	60	△ 0.6	14,204	0.0	77.5	—	19.4	96
89 期末 (2019年12月23日)	7,220	60	3.6	14,762	3.9	80.8	—	17.6	103
90 期末 (2020年1月21日)	7,403	60	3.4	15,393	4.3	81.1	—	17.3	109
91 期末 (2020年2月21日)	7,242	60	△ 1.4	15,251	△ 0.9	81.4	—	16.3	110
92 期末 (2020年3月23日)	4,219	60	△ 40.9	8,776	△ 42.5	76.4	—	14.3	74
93 期末 (2020年4月21日)	4,847	60	16.3	10,479	19.4	83.6	—	14.6	92
94 期末 (2020年5月21日)	5,180	60	8.1	11,345	8.3	85.8	—	12.2	106
95 期末 (2020年6月22日)	5,700	60	11.2	12,423	9.5	85.6	—	12.3	137
96 期末 (2020年7月21日)	6,058	60	7.3	12,973	4.4	87.8	—	10.8	152
97 期末 (2020年8月21日)	6,256	60	4.3	13,377	3.1	88.5	—	9.3	166
98 期末 (2020年9月23日)	5,727	60	△ 7.5	12,462	△ 6.8	85.4	—	11.2	155
99 期末 (2020年10月21日)	5,938	60	4.7	13,215	6.0	86.3	—	12.3	166
100 期末 (2020年11月24日)	6,338	60	7.7	14,368	8.7	85.8	—	12.5	174
101 期末 (2020年12月21日)	6,836	60	8.8	15,035	4.6	87.9	—	10.3	166
102 期末 (2021年1月21日)	7,115	60	5.0	15,605	3.8	90.4	—	8.0	165
103 期末 (2021年2月22日)	7,402	60	4.9	16,216	3.9	90.9	—	7.2	187
104 期末 (2021年3月22日)	7,413	60	1.0	16,195	△ 0.1	89.4	—	7.6	200
105 期末 (2021年4月21日)	7,672	60	4.3	16,817	3.8	89.4	—	8.7	220
106 期末 (2021年5月21日)	7,802	60	2.5	17,035	1.3	89.3	—	8.6	232
107 期末 (2021年6月21日)	7,780	60	0.5	17,498	2.7	89.1	—	8.9	260
108 期末 (2021年7月21日)	7,599	60	△ 1.6	16,788	△ 4.1	88.2	—	9.1	279
109 期末 (2021年8月23日)	7,345	60	△ 2.6	16,813	0.1	87.0	—	9.7	265
110 期末 (2021年9月21日)	7,058	60	△ 3.1	16,531	△ 1.7	84.7	—	11.5	277
111 期末 (2021年10月21日)	7,811	60	11.5	18,298	10.7	87.2	—	10.3	321
112 期末 (2021年11月22日)	7,374	60	△ 4.8	17,506	△ 4.3	85.4	—	12.0	309
113 期末 (2021年12月21日)	7,348	60	0.5	16,895	△ 3.5	86.1	—	12.4	315
114 期末 (2022年1月21日)	7,592	60	4.1	17,252	2.1	87.7	—	8.8	319
115 期末 (2022年2月21日)	7,506	60	△ 0.3	17,140	△ 0.6	86.9	—	9.2	339
116 期末 (2022年3月22日)	8,047	60	8.0	18,492	7.9	84.3	—	9.5	389

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLC が有しています。S&P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

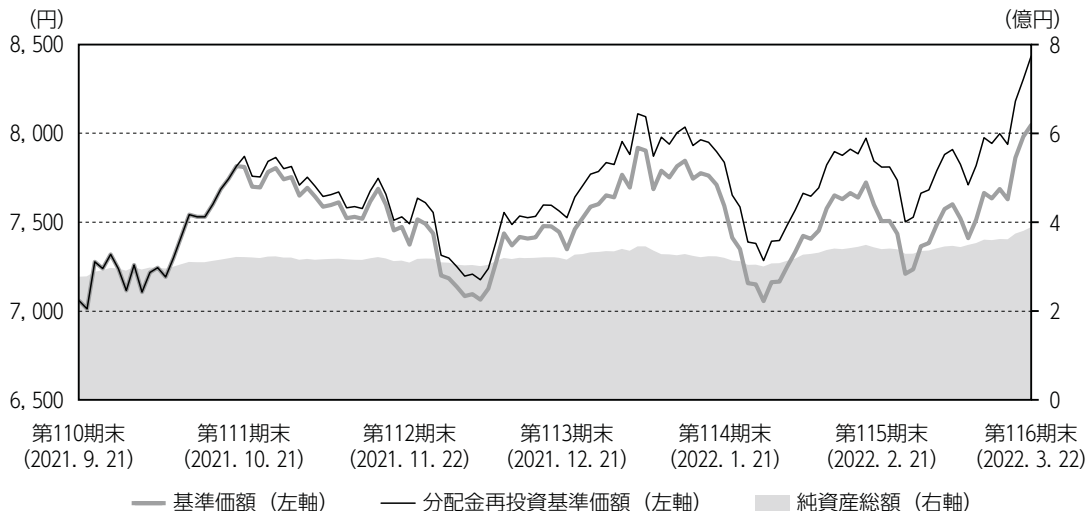
(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第111期首：7,058円

第116期末：8,047円（既払分配金360円）

騰 落 率：19.5%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は上昇しました。鉄鉱石価格の回復やオーストラリア長期金利の上昇等を受けて大手鉱山株や大手銀行株が上昇したことなどから、株式はプラス要因となりました。また、オーストラリア・ドルが対円で上昇（円安）したこともプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

オーストラリア好配当株式オープン（毎月決算型）

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (円換算)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第111期	(期 首) 2021年 9月21日	円 7,058	% —	16,531	% —	% 84.7	% —	% 11.5
	9月末	7,116	0.8	16,614	0.5	85.0	—	11.1
	(期 末) 2021年10月21日	7,871	11.5	18,298	10.7	87.2	—	10.3
第112期	(期 首) 2021年10月21日	7,811	—	18,298	—	87.2	—	10.3
	10月末	7,754	△ 0.7	18,247	△ 0.3	86.9	—	10.5
	(期 末) 2021年11月22日	7,434	△ 4.8	17,506	△ 4.3	85.4	—	12.0
第113期	(期 首) 2021年11月22日	7,374	—	17,506	—	85.4	—	12.0
	11月末	7,184	△ 2.6	16,886	△ 3.5	84.9	—	12.1
	(期 末) 2021年12月21日	7,408	0.5	16,895	△ 3.5	86.1	—	12.4
第114期	(期 首) 2021年12月21日	7,348	—	16,895	—	86.1	—	12.4
	12月末	7,767	5.7	17,975	6.4	86.0	—	12.4
	(期 末) 2022年 1月21日	7,652	4.1	17,252	2.1	87.7	—	8.8
第115期	(期 首) 2022年 1月21日	7,592	—	17,252	—	87.7	—	8.8
	1月末	7,162	△ 5.7	16,197	△ 6.1	88.3	—	9.1
	(期 末) 2022年 2月21日	7,566	△ 0.3	17,140	△ 0.6	86.9	—	9.2
第116期	(期 首) 2022年 2月21日	7,506	—	17,140	—	86.9	—	9.2
	2月末	7,235	△ 3.6	16,655	△ 2.8	85.4	—	9.2
	(期 末) 2022年 3月22日	8,107	8.0	18,492	7.9	84.3	—	9.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2021. 9. 22 ~ 2022. 3. 22)

■オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市場は上昇しました。

オーストラリア株式市場は、当作成期首より2021年11月中旬にかけて、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展などを背景に行動規制が緩和されたことや、業績改善への期待感などが広がり、底堅く推移しました。その後、新型コロナウイルス変異株への懸念から下落する場面もみられましたが、変異株への過度な懸念が後退したことやオーストラリア国内における経済活動再開期待の高まりなどを背景に、12月末にかけて上昇しました。2022年に入ると、米国の金融引き締め政策に対する警戒感やウクライナ情勢の緊迫化などが嫌気されて軟調な展開となりましたが、鉄鉱石をはじめとする資源価格が堅調であったことなどから、当作成期末にかけて上昇しました。

■為替相場

オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

オーストラリア・ドルの対円為替相場は、当作成期首から、資源価格が堅調に推移したことやRBA（オーストラリア準備銀行）の利上げ観測が高まったことなどを背景に上昇しました。2021年11月に入ると、鉄鉱石価格が下落傾向となったことに加え、新型コロナウイルスの新たな変異株への懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まり、対円で下落（円高）しました。12月には、鉄鉱石価格が反発したことや、新型コロナウイルス変異株への過度な懸念が後退したことから、市場のリスク選好姿勢が強まり対円で上昇傾向となりました。2022年1月から当作成期末にかけては、ウクライナ情勢の緊迫化により原油などの資源価格が上昇したことを背景に、対円で上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」**■当ファンド**

「ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

当ファンドでは、引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

ポートフォリオについて

（2021. 9. 22 ～ 2022. 3. 22）

■当ファンド

「ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

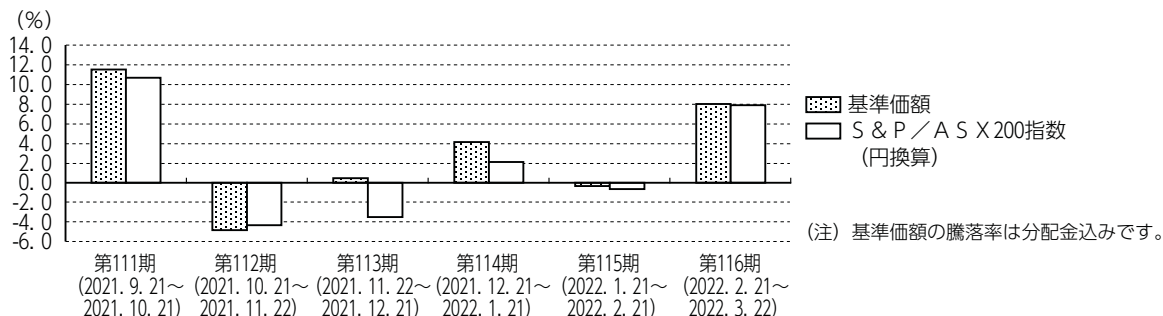
オーストラリアの金融商品取引所上場株式等の中から、企業の利益成長性、財務内容、配当余力および配当政策等を分析し、予想配当利回りの水準が高いと判断される銘柄を中心にポートフォリオを構築しました。

高いブランド力と強固な顧客基盤を持ち高い収益性を誇る大手銀行の COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA（金融）やグローバルな事業ネットワークを持ち底堅い利益成長が見込まれる大手証券会社の MACQUARIE GROUP LTD（金融）、高い収益力とキャッシュフロー創出力を持つ大手鉱山会社の BHP GROUP LTD（素材）などを高位に組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第111期	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期
	2021年9月22日 ～2021年10月21日	2021年10月22日 ～2021年11月22日	2021年11月23日 ～2021年12月21日	2021年12月22日 ～2022年1月21日	2022年1月22日 ～2022年2月21日	2022年2月22日 ～2022年3月22日
当期分配金(税込み) (円)	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率 (%)	0.76	0.81	0.81	0.78	0.79	0.74
当期の収益 (円)	60	34	0	11	60	60
当期の収益以外 (円)	—	25	59	48	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	4,910	4,886	4,826	4,778	4,808	5,207

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第111期	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 5.82円	✓ 34.95円	✓ 0.16円	✓ 11.43円	✓ 85.35円	✓ 107.81円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 152.69	0.00	0.00	0.00	0.00	346.94
(c) 収益調整金	4,126.10	4,161.53	4,195.65	4,244.66	4,287.39	4,332.25
(d) 分配準備積立金	685.60	✓ 749.87	✓ 690.70	✓ 582.34	496.05	480.65
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	4,970.23	4,946.36	4,886.52	4,838.45	4,868.80	5,267.66
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	4,910.23	4,886.36	4,826.52	4,778.45	4,808.80	5,207.66

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

当ファンドでは、引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第111期～第116期 (2021. 9. 22～2022. 3. 22)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	62円	0. 825%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は7,504円です。
（投 信 会 社）	(29)	(0. 385)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(31)	(0. 413)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0. 027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	98	1. 309	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(88)	(1. 177)	
（投資信託証券）	(10)	(0. 132)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	4	0. 047	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(3)	(0. 045)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0. 002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	164	2. 181	

（注 1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

（注 2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

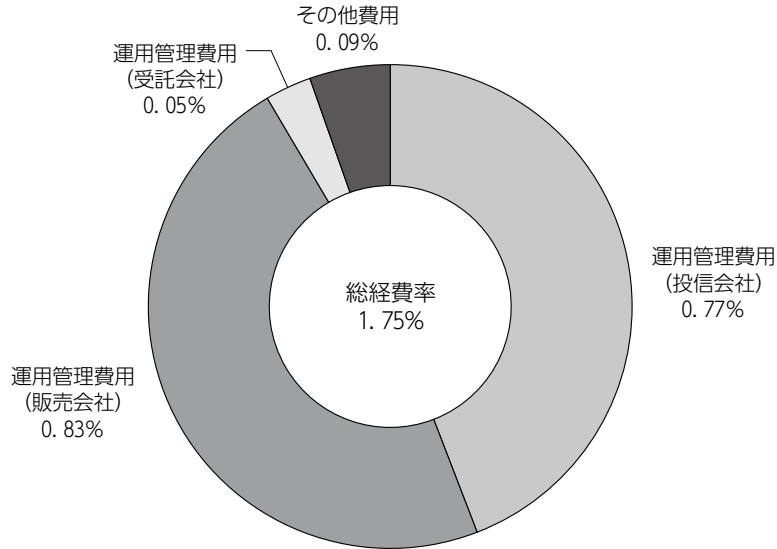
（注 3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

（注 4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2021年9月22日から2022年3月22日まで)

決 算 期	第 111 期 ～ 第 116 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・オーストラリア 高配当株マザーファンド	35,216	95,900	17,331	47,800

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2021年9月22日から2022年3月22日まで)

項 目	第 111 期 ～ 第 116 期
	ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,848,753千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,472,564千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	1.25

(注 1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	第 110 期 末	第 116 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・オーストラリア 高配当株マザーファンド	109,630	127,515	385,453

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年3月22日現在

項 目	第 116 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・オーストラリア 高配当株マザーファンド	385,453	98.2
コール・ローン等、その他	6,932	1.8
投資信託財産総額	392,385	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月22日における邦貨換算レートは、1 オーストラリア・ドル＝88.55円です。
(注 3) ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンドにおいて、第116期末における外貨建純資産（379,063千円）の投資信託財産総額（385,453千円）に対する比率は、98.3%です。

オーストラリア好配当株式オープン（毎月決算型）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年10月21日)、(2021年11月22日)、(2021年12月21日)、(2022年 1月21日)、(2022年 2月21日)、(2022年 3月22日) 現在

項 目	第111期末	第112期末	第113期末	第114期末	第115期末	第116期末
(A) 資産	324,725,175円	312,572,568円	318,597,884円	322,961,131円	342,494,099円	392,385,152円
コール・ローン等	6,120,897	6,346,945	6,159,644	6,270,141	6,547,165	6,932,046
ダイワ・オーストラリア高配当株 マザーファンド（評価額）	318,504,278	306,025,623	312,438,240	316,690,990	335,946,934	385,453,106
未収入金	100,000	200,000	—	—	—	—
(B) 負債	3,118,698	3,424,443	2,992,317	3,000,208	3,175,604	3,370,062
未払収益分配金	2,470,352	2,515,384	2,576,931	2,528,828	2,712,288	2,900,620
未払解約金	240,860	446,513	—	—	—	462
未払信託報酬	406,146	459,689	411,175	465,629	456,059	460,200
その他未払費用	1,340	2,857	4,211	5,751	7,257	8,780
(C) 純資産総額（A－B）	321,606,477	309,148,125	315,605,567	319,960,923	339,318,495	389,015,090
元本	247,035,237	251,538,430	257,693,186	252,882,877	271,228,850	290,062,016
次期繰越損益金	74,571,240	57,609,695	57,912,381	67,078,046	68,089,645	98,953,074
(D) 受益権総口数	411,725,407口	419,230,729口	429,488,656口	421,471,475口	452,048,096口	483,436,707口
1万口当り基準価額（C／D）	7,811円	7,374円	7,348円	7,592円	7,506円	8,047円

* 第110期末における元本額は235,806,939円、当作成期間（第111期～第116期）中における追加設定元本額は102,009,565円、同解約元本額は47,754,488円です。

* 第116期末の計算口数当りの純資産額は8,047円です。

■損益の状況

第111期 自2021年 9月22日 至2021年10月21日 第113期 自2021年11月23日 至2021年12月21日 第115期 自2022年 1月22日 至2022年 2月21日
第112期 自2021年10月22日 至2021年11月22日 第114期 自2021年12月22日 至2022年 1月21日 第116期 自2022年 2月22日 至2022年 3月22日

項 目	第111期	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期
(A) 配当等収益	△ 106円	△ 143円	△ 127円	△ 124円	△ 73円	△ 50円
受取利息	3	—	7	9	1	1
支払利息	△ 109	△ 143	△ 134	△ 133	△ 74	△ 51
(B) 有価証券売買損益	33,414,578	△ 15,126,322	1,988,587	12,228,532	△ 34,549	29,074,281
売買益	33,551,146	147,655	2,090,519	13,731,653	39,810	29,092,441
売買損	△ 136,568	△ 15,273,977	△ 101,932	△ 1,503,121	△ 74,359	△ 18,160
(C) 信託報酬等	△ 407,486	△ 461,206	△ 412,529	△ 467,169	△ 457,565	△ 461,723
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	33,006,986	△ 15,587,671	1,575,931	11,761,239	△ 492,187	28,612,508
(E) 前期繰越損益金	1,747,947	31,437,064	13,017,277	10,884,946	20,051,617	16,608,491
(F) 追加信託差損益金	42,286,659	44,275,686	45,896,104	46,960,689	51,242,503	56,632,695
（配当等相当額）	（ 169,882,392）	（ 174,464,476）	（ 180,198,791）	（ 178,900,728）	（ 193,810,788）	（ 209,437,047）
（売買損益相当額）	（△ 127,595,733）	（△ 130,188,790）	（△ 134,302,687）	（△ 131,940,039）	（△ 142,568,285）	（△ 152,804,352）
(G) 合計（D＋E＋F）	77,041,592	60,125,079	60,489,312	69,606,874	70,801,933	101,853,694
(H) 収益分配金	△ 2,470,352	△ 2,515,384	△ 2,576,931	△ 2,528,828	△ 2,712,288	△ 2,900,620
次期繰越損益金（G＋H）	74,571,240	57,609,695	57,912,381	67,078,046	68,089,645	98,953,074
追加信託差損益金	42,286,659	44,275,686	45,896,104	46,960,689	51,242,503	56,632,695
（配当等相当額）	（ 169,882,392）	（ 174,464,476）	（ 180,198,791）	（ 178,900,728）	（ 193,810,788）	（ 209,437,047）
（売買損益相当額）	（△ 127,595,733）	（△ 130,188,790）	（△ 134,302,687）	（△ 131,940,039）	（△ 142,568,285）	（△ 152,804,352）
分配準備積立金	32,284,581	30,386,900	27,095,181	22,497,445	23,570,320	42,320,379
繰越損益金	—	△ 17,052,891	△ 15,078,904	△ 2,380,088	△ 6,723,178	—

（注 1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注 2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注 3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第111期	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期
(a) 経費控除後の配当等収益	239,990円	1,465,220円	7,013円	482,099円	3,858,681円	5,212,016円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	6,286,699	0	0	0	0	16,772,552
(c) 収益調整金	169,882,392	174,464,476	180,198,791	178,900,728	193,810,788	209,437,047
(d) 分配準備積立金	28,228,244	31,437,064	29,665,099	24,544,174	22,423,927	23,236,431
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	204,637,325	207,366,760	209,870,903	203,927,001	220,093,396	254,658,046
(f) 分配金	2,470,352	2,515,384	2,576,931	2,528,828	2,712,288	2,900,620
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	202,166,973	204,851,376	207,293,972	201,398,173	217,381,108	251,757,426
(h) 受益権総口数	411,725,407□	419,230,729□	429,488,656□	421,471,475□	452,048,096□	483,436,707□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万 口 当 り 分 配 金 （ 税 込 み ）	第111期	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期
	60円	60円	60円	60円	60円	60円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・ 分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・ 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・ 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・ 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

運用報告書 第20期 (決算日 2022年3月22日)

(作成対象期間 2021年9月22日～2022年3月22日)

ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

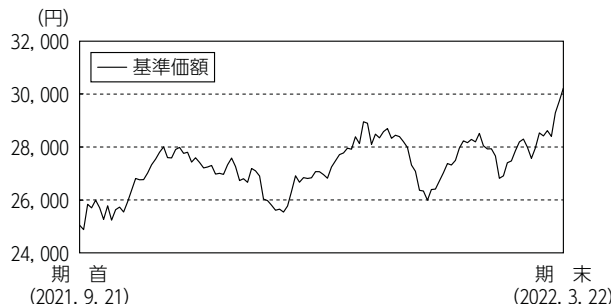
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	オーストラリアの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		S&P/ASX200指数 (円換算)		株 式 組入比率	株式先物 比 率	投資信託 証 券 組入比率
	騰落率	(参考指数)	騰落率				
	円	%	%	%	%	%	%
(期 首) 2021年 9月21日	25,044	—	15,511	—	85.6	—	11.6
9 月 末	25,261	0.9	15,589	0.5	85.9	—	11.2
10 月 末	27,804	11.0	17,122	10.4	87.7	—	10.6
11 月 末	25,975	3.7	15,844	2.1	85.8	—	12.2
12 月 末	28,388	13.4	16,866	8.7	86.9	—	12.5
2022年 1 月 末	26,392	5.4	15,198	△ 2.0	89.2	—	9.2
2 月 末	26,911	7.5	15,628	0.7	86.4	—	9.3
(期 末) 2022年 3 月 22日	30,228	20.7	17,352	11.9	85.0	—	9.6

(注 1) 騰落率は期首比。

(注 2) S & P / A S X 200 指数 (円換算) は、S & P / A S X 200 指数 (オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X 200 指数 (オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLC が有しています。S&P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注 5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：25,044円 期末：30,228円 騰落率：20.7%

【基準価額の主な変動要因】

当作成期の基準価額は上昇しました。鉄鉱石価格の回復やオーストラリア長期金利の上昇等を受けて大手鉱山株や大手銀行株が上昇したことなどから、株式はプラス要因となりました。また、オーストラリア・ドルが対円で上昇 (円安) したこともプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市場は上昇しました。

オーストラリア株式市場は、当作成期首より2021年11月中旬にかけて、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展などを背景に行動規制が緩和されたことや、業績改善への期待感などが広がり、底堅く推移しました。その後、新型コロナウイルス変異株への懸念から下落する場面もみられましたが、変異株への過度な懸念が後退したことやオーストラリア国内における経済活動再開期待の高まりなどを背景に、12月末にかけて上昇しました。2022年に入ると、米国の金融引き締め政策に対する警戒感やウクライナ情勢の緊迫化などが嫌気されて軟調な展開となりましたが、鉄鉱石をはじめとする資源価格が堅調であったことなどから、当作成期末にかけて上昇しました。

○為替相場

オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

オーストラリア・ドルの対円為替相場は、当作成期首から、資源価格が堅調に推移したことやR B A (オーストラリア準備銀行) の利上げ観測が高まったことなどを背景に上昇しました。2021年11月に入ると、鉄鉱石価格が下落傾向となったことに加え、新型コロナウイルスの新たな変異株への懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まり、対円で下落 (円高) しました。12月には、鉄鉱石価格が反発したことや、新型コロナウイルス変異株への過度な懸念が後退したことから、市場のリスク選好姿勢が強まり対円で上昇傾向となりました。2022年1月から当作成期末にかけては、ウクライナ情勢の緊迫化により原油などの資源価格が上昇したことを背景に、対円で上昇しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドでは、引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形で株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

◆ポートフォリオについて

オーストラリアの金融商品取引所上場株式等の中から、企業の利益成長性、財務内容、配当余力および配当政策等を分析し、予想配当利回りの水準が高いと判断される銘柄を中心にポートフォリオを構築しました。

高いブランド力と強固な顧客基盤を持ち高い収益性を誇る大手銀行の COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA (金融) やグローバルな事業ネットワークを持ち底堅い利益成長が見込まれる大手証券会社の MACQUARIE GROUP LTD (金融)、高い収益力とキャッシュフロー創出力を持つ大手鉱山会社の BHP GROUP LTD (素材) などを高位に組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

当ファンドでは、引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形で株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	84円 (73) (11)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	9 (9) (0)
合 計	93

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
 (注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(2021年 9 月22日から2022年 3 月22日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	オーストラリア	百株	千オーストラリア・ドル	百株	千オーストラリア・ドル
		2, 386. 75 (—)	2, 318 (△ 73)	15, 493. 62	19, 990

(注 1) 金額は受渡し代金。
 (注 2) () 内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注 3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2021年 9 月22日から2022年 3 月22日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	オーストラリア	千口	千オーストラリア・ドル	千口	千オーストラリア・ドル
		94. 3 (△ 5. 832)	406 (△ 1)	697. 321 (—)	2, 806 (—)

(注 1) 金額は受渡し代金。
 (注 2) 買付 () 内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注 3) 売付 () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注 4) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

(2021年 9 月22日から2022年 3 月22日まで)

当 期				付			
買		株 数		売		株 数	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
TELSTRA CORP LTD (オーストラリア)	96	31, 419	327	MACQUARIE GROUP LTD (オーストラリア)	11. 108	180, 570	16, 255
WOODSIDE PETROLEUM LTD (オーストラリア)	12	25, 759	2, 146	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL (オーストラリア)	19. 45	159, 559	8, 203
NICK SCALI LTD (オーストラリア)	22	23, 456	1, 066	BHP GROUP LTD (オーストラリア)	38. 436	150, 857	3, 924
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD (オーストラリア)	9. 9	23, 379	2, 361	RIO TINTO LTD (オーストラリア)	14. 104	134, 881	9, 563
COMPUTERSHARE LTD (オーストラリア)	12. 3	19, 714	1, 602	WESFARMERS LTD (オーストラリア)	31. 175	131, 064	4, 204
SUPER RETAIL GROUP LTD (オーストラリア)	12. 1	13, 366	1, 104	AUST AND NZ BANKING GROUP (オーストラリア)	51. 478	120, 200	2, 334
SUNCORP GROUP LTD (オーストラリア)	12. 8	12, 890	1, 007	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD (オーストラリア)	38. 194	97, 494	2, 552
BANK OF QUEENSLAND LTD (オーストラリア)	16	12, 171	760	MINERAL RESOURCES LTD (オーストラリア)	21. 413	82, 220	3, 839
ATLAS ARTERIA (オーストラリア)	16	8, 753	547	FORTESCUE METALS GROUP LTD (オーストラリア)	46. 806	74, 414	1, 589
METCASH LTD (オーストラリア)	19	6, 744	354	WESTPAC BANKING CORP (オーストラリア)	31. 643	60, 205	1, 902

(注 1) 金額は受渡し代金。
 (注 2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2021年9月22日から2022年3月22日まで)

当				期			
買		付		売		付	
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
RURAL FUNDS GROUP (オーストラリア)	32	7,576	236	AVENTUS GROUP (オーストラリア)	146.604	38,971	265
GOODMAN GROUP (オーストラリア)	3.5	6,997	1,999	CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR (オーストラリア)	81.401	26,248	322
SCENTRE GROUP (オーストラリア)	24	6,053	252	GOODMAN GROUP (オーストラリア)	12.833	24,917	1,941
ARENA REIT (オーストラリア)	16.5	5,989	363	RURAL FUNDS GROUP (オーストラリア)	103.149	24,130	233
AVENTUS GROUP (オーストラリア)	12	3,213	267	ARENA REIT (オーストラリア)	56.375	23,556	417
APA GROUP (オーストラリア)	2.3	2,015	876	APA GROUP (オーストラリア)	23.65	19,607	829
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR (オーストラリア)	4	1,439	359	SPARK INFRASTRUCTURE GROUP (オーストラリア)	80.669	19,401	240
				SCENTRE GROUP (オーストラリア)	69.346	18,246	263
				STOCKLAND (オーストラリア)	49.6	17,393	350
				CENTURIA INDUSTRIAL REIT (オーストラリア)	42.881	13,589	316

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘 柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
	百株	百株	オーストラリア・円	千円	
(オーストラリア)					
BHP GROUP LTD	462	77.64	360	31,934	素材
SOUTH32 LTD	631	110.08	53	4,756	素材
ALUMINA LTD	1,150	200.62	39	3,535	素材
WOODSIDE PETROLEUM LTD	—	14.83	46	4,156	エネルギー
OZ MINERALS LTD	90	15.71	40	3,616	素材
FORTESCUE METALS GROUP LTD	545	76.94	143	12,747	素材
CSR LTD	400	69.79	42	3,745	素材
BENDIGO AND ADELAIDE BANK	280.58	—	—	—	金融
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	392.65	109.71	339	30,018	金融
WESTPAC BANKING CORP	366.82	50.39	118	10,508	金融
AUST AND NZ BANKING GROUP	623.57	108.79	300	26,568	金融
RIO TINTO LTD	166.84	25.8	284	25,231	素材
METCASH LTD	1,597	311.75	140	12,422	生活必需品
AURIZON HOLDINGS LTD	579	101.01	35	3,166	資本財・サービス
SRG GLOBAL LTD	4,217.17	—	—	—	資本財・サービス
NICK SCALI LTD	—	38.38	44	3,915	一般消費財・サービス
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	230.32	37.82	399	35,398	金融
WOOLWORTHS GROUP LTD	32	—	—	—	生活必需品
TABCORP HOLDINGS LTD	616	107.47	53	4,720	一般消費財・サービス
TELSTRA CORP LTD	700	289.59	113	10,052	コミュニケーション・サービス
SUPER RETAIL GROUP LTD	152.35	47.69	49	4,353	一般消費財・サービス
MACQUARIE GROUP LTD	130.44	20.11	392	34,726	金融
BANK OF QUEENSLAND LTD	356.44	39.42	32	2,907	金融
WESFARMERS LTD	365.63	65.88	333	29,565	一般消費財・サービス

銘柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
	百株	百株	オーストラリア・円	千円	
SUNCORP GROUP LTD	211.87	38.01	42	3,736	金融
COMPUTERSHARE LTD	—	21.46	48	4,334	情報技術
HARVEY NORMAN HOLDINGS LTD	390	155.04	84	7,509	一般消費財・サービス
DOWNER EDI LTD	115	—	—	—	資本財・サービス
JB HI-FI LTD	105	16.91	84	7,447	一般消費財・サービス
ATLAS ARTERIA	199.64	62.74	43	3,872	資本財・サービス
MINERAL RESOURCES LTD	221	6.87	32	2,848	素材
ファン ド	株数・金額	15,327.32	2,220.45	3,701	327,794
合 計	銘柄数<比率>	28銘柄	27銘柄	<85.0%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

(2)外国投資信託証券

銘 柄	期 首	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
	千口	千口	オーストラリア・ドル	千円
(オーストラリア)				
CENTURIA OFFICE REIT UNITS	5,832	—	—	—
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR	98,603	21,202	84	7,490
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	51,943	9,062	35	3,153
AVENTUS GROUP	134,604	—	—	—
RURAL FUNDS GROUP	92,946	21,797	63	5,597
CENTURIA OFFICE REIT	37,325	6,512	14	1,326
APA GROUP	28,648	7,298	73	6,501
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	80,669	—	—	—
SCENTRE GROUP	60	14,654	44	3,970
ARENA REIT	51,788	11,913	58	5,158
STOCKLAND	49,6	—	—	—
GOODMAN GROUP	11,2	1,867	42	3,731
ファン ド	口数、金額	703,158	94,305	417
合 計	銘柄数<比率>	12銘柄	8銘柄	<9.6%>

- (注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
- (注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。
- (注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年 3月22日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	327,794	85.0
投資信託証券	36,929	9.6
コール・ローン等、その他	20,728	5.4
投資信託財産総額	385,453	100.0

- (注1) 評価額の単位未満は切捨て。
- (注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月22日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル＝88.55円です。
- (注3) 当期末における外貨建純資産 (379,063千円) の投資信託財産総額 (385,453千円) に対する比率は、98.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年 3月22日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	390,653,054円
コール・ローン等	11,652,398
株式 (評価額)	327,794,879
投資信託証券 (評価額)	36,929,815
未収入金	5,203,496
未収配当金	9,072,466
(B)負債	5,200,000
未払金	5,200,000
(C)純資産総額 (A－B)	385,453,054
元本	127,515,253
次期繰越損益金	257,937,801
(D)受益権総口数	127,515,253口
1万口当り基準価額 (C/D)	30,228円

- * 期首における元本額は741,495,798円、当作成期間中における追加設定元本額は53,334,733円、同解約元本額は667,315,278円です。
- * 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：オーストラリア好配当株式オープン (毎月決算型) 127,515,253円
- * 当期末の計算口数当りの純資産額は30,228円です。

■損益の状況

当期 自2021年 9月22日 至2022年 3月22日

項 目	当 期
(A)配当等収益	27,288,908円
受取配当金	27,311,809
受取利息	14
支払利息	△ 22,915
(B)有価証券売買損益	223,897,279
売買益	272,116,179
売買損	△ 48,218,900
(C)その他費用	△ 580,096
(D)当期損益金 (A＋B＋C)	250,606,091
(E)前期繰越損益金	1,115,543,045
(F)解約差損益金	△ 1,198,166,602
(G)追加信託差損益金	89,955,267
(H)合計 (D＋E＋F＋G)	257,937,801
次期繰越損益金 (H)	257,937,801

- (注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。